

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和5年8月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.67)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



2学期も学校教育へ温かいご支援を！

学校は夏休み（夏季休業）を終え、第2学期の教育活動が始まりました。子どもたちはそれぞれのめあてに向かって懸命に学校生活を送ります。2学期は他の学期と比べて期間が長く、様々な学習活動や行事が展開されます。

広尾っ子応援団本部（地域学校協働本部）としましても、学校からの要望に連携しながら対応していきます。そうした中、子どもたちの活動も活発になると思われますので、地域の皆様には広尾っ子の健やかな成長のため温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

授業紹介～重点教育目標を目指して

各学校では今年度の重点教育目標の達成に向けて、先生方が日頃の授業の充実に努めています。今回は豊似小学校（重点教育目標：自分らしさを発揮し、協働して共に高め合う学校）の授業の様子を紹介します。

【豊似小学校：7月19日、高学年、算数】

5年生は図形の学習で、合同な三角形のかき方を考えました。

一人一人が自分の考えをタブレットに入力し、みんなで共有、確認していました。子どもたちは辺の長さや角の大きさに注目し、かき方がいくつかあることに気が付いていました。自分の考えをしっかりと発言する姿も立派でした。



6年生は割合の学習で、比の関係を使って問題を考えました。

子どもたちはこれまでに学んだ内容を生かしながら自分の考えをノートにまとめ、それぞれの解き方を板書しました。また、全員で解き方について交流する場面では、発言の仕方や聞き方がしっかりと身に付いており、重点教育目標にある「協働して共に高め合う」ことにつながっていると感じました。

地域の協力による教育活動

豊似小学校で7月20日にボランティアサークル「アトリ」の皆さんが、全校児童を対象にお話会を開催してくださいました。なお、アトリの皆さんは、毎週、豊似小で読み聞かせをしてくださっています。

この日は2時間目に絵本の読み聞かせの後、身近な動物について講師の先生からお話がありました。動物たちを守るために道路のつくりなど、私たちの生活の中に工夫があることを知ることができ、子どもたちは興味をもって聞いたり、質問したりしていました。自然の生き物を大切にしようという意識が高まったことと思います。

また会場には保護者、地域の皆さんも来られて、子どもたちと一緒に参加する姿がありました。そこには、学校と地域の一体感が感じられ、コミュニティ・スクールが目指している「地域とともにある学校」の様子が分かりました。



かがやけ広尾っ子：応援メッセージの紹介

町の広報誌や新聞記事で、広尾っ子のみなさんが1学期にがんばっていたことが分かります。運動会や体育祭では全力で走っている様子、上手くできて喜ぶ様子など仲間と気持ちを合せているのがとても良いです。高校の学校祭では学校の伝統を守り、町を盛り上げようとする気持ちが分かります。今は、生徒の数も減って、学級対抗の競技はできなくなっているようですが、いろんな行事に全力で取り組む気持ちは、昔も今も変わらないと思われます。広尾っ子のみなさん、これからも元気でがんばってください。

(町内 60代男性 8月1日受取)